

1. 施策の概要

施策シート【16-09】

総合教育部

施策名称		子どもの健やかな身体の育成			
総合計画体系	基本目標等	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心をはぐくむまち			
	施策目標等	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			
めざす姿（主観的満足度）		子どもが安全な学習環境で学校生活を過ごしている			
概要		学校・家庭・地域・関係機関が連携を図りながら、健やかな身体を育成する取り組みを進める。			
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度				
		1. 中学校の全員給食の実施 2. 給食提供体制の整備 ○改修工事完了			
	R7年度				
	R8年度				
	R9年度				

2. 市民満足度、取り組み実績および施策指標の分析

市民満足度の分析

【満足度30.3%】

- ・年代別で最も高いのは20歳台で47.8%、続いて40歳台で37.0%である。一方で最も低いのは60歳台で27.2%であった。
- ・昨年度と比較すると、全体では13.1ポイント減少しているものの、熟年世代(45～64歳)では9.7ポイント減少にとどまっている。

取り組み実績および施策指標の分析

【取り組み実績】

- ・施策の進捗としては、新給食センターの整備などの進捗に課題があるものの、中学校給食配膳室の拡充等設計委託は計画通りに進めることができている。

【施策指標】

- ・「持続可能な中学校給食の運用開始に必要な整備達成率」については目標未達成である。

3. 具体的な取り組みの進捗と施策指標の実績

施策シート【16-09】- 具体的な取り組み

総合教育部

施策名称	子どもの健やかな身体の育成
------	---------------

1. 中学校の全員給食の実施

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
健やかな成長を支えるための中学校での全員給食の実施に向け、新たな給食センターを整備、第一学校給食共同調理場の一部改修を実施。	アドバイザー業務委託	・アドバイザー業務委託 ・入札公告	・新給食調理場事業者選定 ・新給食調理場の設計	・新給食調理場の工事 ・R10年度3学期より、新給食調理場の完成及び選択制食缶方式にて提供開始	おいしい給食課
		・中学校給食配膳室の拡充等設計委託	・中学校給食配膳室改修等工事 ・第一学校給食共同調理場改修設計委託	・第一学校給食共同調理場改修工事発注 ・R10年度3学期より、第一学校給食共同調理場改修工事着工 ・R11年度2学期より、食缶方式にて全員給食の実施	
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
新給食センター整備の公募において、再公告を実施したが2年連続して事業者の参加表明がなかったため、更なる公募等の内容や今後の進め方等についての検証を進め、できるだけ早期に中学校全員給食が実施できるよう取り組みを進めていく。	アドバイザー業務委託により必要な資料を作成し、12月に新給食調理場の入札公告を行ったが、3月、参加表明はなかった。	令和6年度に、参加表明が無かった新給食調理場の公募について、10月に再公告を行ったが、参加表明はなかった。中学校給食配膳室の拡充等設計委託については予定どおり完了した。			
年度ごとの達成状況	◎	○			

施策シート【16－09】－ 施策指標

総合教育部

施策名称	子どもの健やかな身体の育成
------	---------------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
持続可能な中学校給食の運用開始に必要な整備達成率	各年度に実施すべき取り組みの達成度	51.3	59.3	78	83.3	%	おいしい給食課	1. 中学校の全員給食の実施
各年度の実績		51.3	58.7			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 新給食調理場の整備をPFI方式で実施するにあたり、アドバイザー業務委託により必要な資料を作成し、当初の計画どおり、12月に入札公告を行った。								
【施策指標の分析 R7】 新給食調理場の整備をPFI方式で実施するにあたり、アドバイザー業務委託により必要な資料を作成し、計画通り10月に入札公告を行った。								

施策シート【16－09】－ 具体的な取り組み

総合教育部

施策名称	子どもの健やかな身体の育成
------	---------------

2. 給食提供体制の整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
樟葉西小学校給食調理場について、既存の建物を活用する長寿命化改修工事により、ドライシステム調理場として整備。	改修工事の実施及び完了	—	—	—	おいしい給食課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
樟葉西小学校給食調理場改修事業は完了した。	予定どおり7月に改修工事が完了し、2学期から供用を開始した。	—			
年度ごとの達成状況	◎	—			

※関連指標なし

4. 取組満足度と関心・期待度・ニーズの4象限マトリクス分析

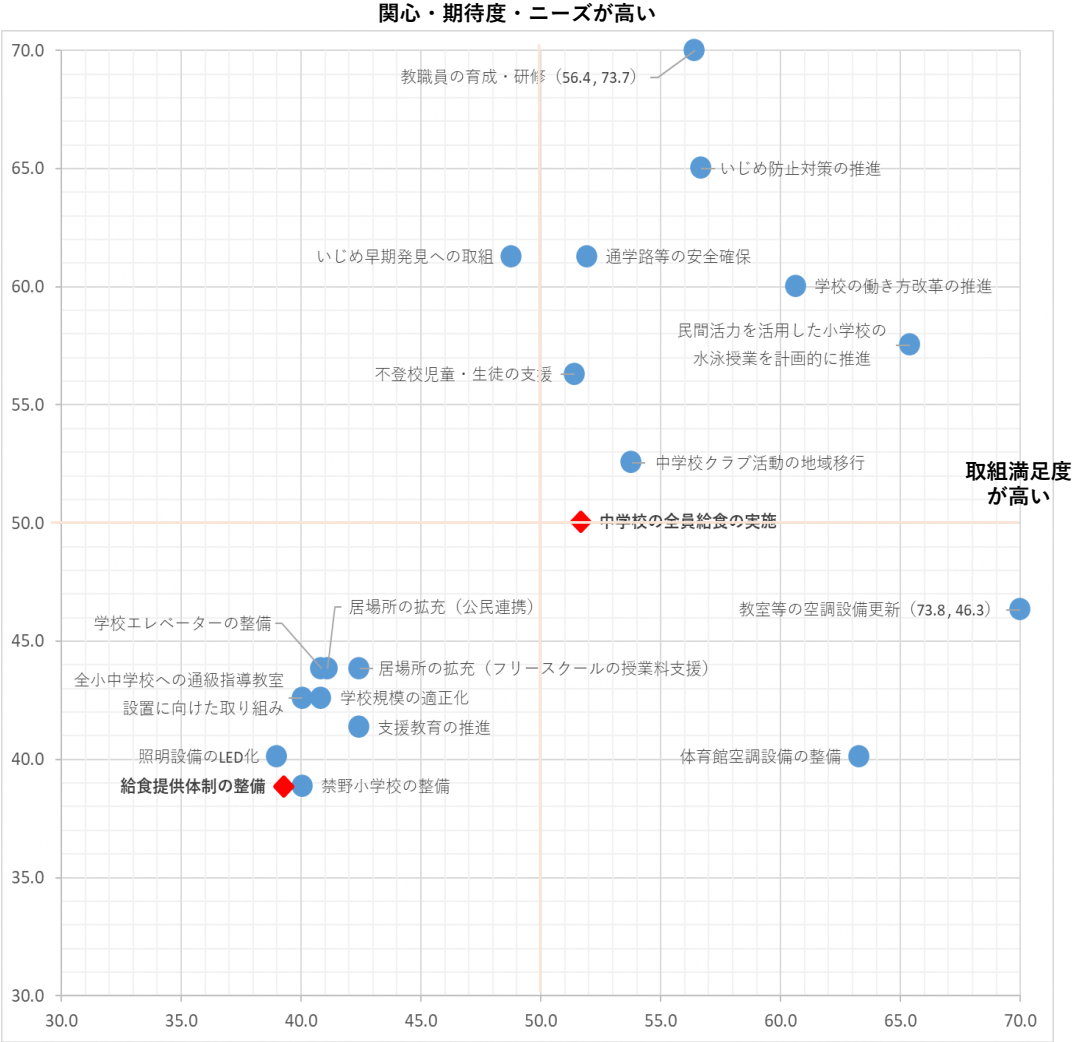
子どもの安全な学習環境
16_09 子どもの健やかな身体の育成

施策満足度		
満足	不満足	どちらとも いえない わからない
30.3%	5.3%	64.4%
「決め手となった取り組みはない」と 回答した人		
48.8%		

※回答数／全体数1,762

※満足の定義は、「感じている」「やや感じている」を選択した人で、
不満足の定義は、「あまり感じていない」「感じていない」を選択した人

※各施策における取組満足度や関心・期待・ニーズを分析するものであり、異なる施策間での比較を行うものではありません。



目指すべき姿（施策満足度）『子どもの安全な学習環境』に紐づく全取り組み⇒青丸●

上記のうち施策シート『16_09 子どもの健やかな身体の育成』に紐づく取り組み⇒赤ダイヤ◆

施策の分析

- ・「1. 中学校の全員の給食の実施」の関心・期待度・ニーズと取組満足度はともに平均的である。
- ・「2. 給食提供体制の整備」の関心・期待度・ニーズと取組満足度はともに低い。

5. 評価を踏まえた今後の方向性

今後の方向性

- ・ 施策全体の方向性としては、できるだけ早期に中学校全員給食が実施できるよう公募等の内容や今後の進め方等についての検証を進めていく。

1. 施策の概要

施策シート【17_01】

観光にぎわい部

施策名称		生涯学習の推進			
総合計画体系	基本目標等	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心をはぐくむまち			
	施策目標等	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			
めざす姿（主観的満足度）		生きがいを持って学び続けられる環境が整っている			
概要		あらゆる世代の人が身近なところで学ぶことができる機会の創出を図り、その成果を地域で生かし、市民同士等がつながりを育める環境を作る。			
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度				R9年度
	1. 生涯学習交流センターの充実 ○令和6年度前期において、市駅前 に図書館との複合施設となる 生涯学習交流センターをオープン 2. デジタルを活用した学びや生きが いづくりの促進 ○Wi-Fiを活用した事業の実施や サイネージを活用した情報発信				1. 生涯学習交流センターの充実 ○次期指定管理者の選定
	R7年度				
	R8年度				

2. 市民満足度、取り組み実績および施策指標の分析

市民満足度の分析

【満足度20.7%】

- ・年代別では、19歳以下が最も高く、53.8%である。最も低いのは、70歳台で15.7%であった。
- ・昨年度と比較すると全体では、15.0ポイント減少したものの、子育て世代(25～44歳)は6.8ポイントの減少にとどまった。

取り組み実績および施策指標の分析

【取り組み実績】

- ・施策の進捗としては、概ね達成できている。

【施策指標】

- ・「総合文化芸術センター及び生涯学習市民センターにおけるWi-Fi接続数」は目標を達成したものの、「総合文化芸術センター及び生涯学習市民センターにおけるデジタルサイネージ利用数」は、設置から1年が経過し目新しさがなくなったことから利用が大幅に減少した。

3. 具体的な取り組みの進捗と施策指標の実績

施策シート【17_01】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部

施策名称	生涯学習の推進
------	---------

1. 生涯学習交流センターの充実

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
令和6年度前期に③街区において図書館との複合施設となる生涯学習交流センターをオープン。	・令和6年度前期において図書館との複合施設となる生涯学習交流センターをオープン ・指定管理者による運営	継続	継続	次期指定管理者の選定	文化生涯学習課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
指定管理者制度を導入して運営している。仕様書等に基づき適正な管理運営がなされているかモニタリング等を行い、確認する必要がある。	令和6年9月17日に生涯学習交流センター及び市駅前図書館を開館した。 ●主催事業数29事業（見込み）	引き続き生涯学習交流センター及び市駅前図書館を市民利用に供した。 ●主催事業数84事業			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

※関連指標なし

施策名称	生涯学習の推進
------	---------

2. デジタルを活用した学びや生きがいづくりの促進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
デジタルを活用した学びや生きがいづくりの促進	・Wi-Fiを活用した事業の実施 ・サイネージを活用した情報発信	継続	継続	継続	文化生涯学習課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
デジタルを活用することで、誰もが気軽に情報にアクセスすることが必要。	●デジタルを活用した情報発信を実施 ・観光情報 ・施設案内 ●イベント情報の発信について検討	●デジタルを活用した情報発信を実施 ・観光情報 ・施設案内 ●イベント情報発信を実施			
年度ごとの達成状況	○	○			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
総合文化芸術センター及び生涯学習市民センターにおけるWi-Fi接続数	Wi-Fiを設置した施設におけるWi-Fi接続数	14,000	140,000	150,000	155,000	回	文化生涯学習課	2. デジタルを活用した学びや生きがいづくりの促進
各年度の実績		136,005	153,811			回	備考	
【施策指標の分析 R6】 多くの利用があったことから、目標値を大幅に達成した。							(令和6年4月～令和7年1月末 113,641回)	
【施策指標の分析 R7】 多くの利用があったことから、目標値を大幅に達成した。							(令和7年4月～令和8年3月末 153,811回)	
総合文化芸術センター及び生涯学習市民センターにおけるデジタルサイネージ利用数	デジタルサイネージを設置した施設におけるタッチ数	28,000	130,000	135,000	140,000	回	文化生涯学習課	2. デジタルを活用した学びや生きがいづくりの促進
各年度の実績		126,399	79,058			回	備考	
【施策指標の分析 R6】 多くの利用があったことから、目標値を大幅に達成した。							(令和6年4月～令和7年1月末 116,486回)	
【施策指標の分析 R7】 設置から1年が経過し目新しさがなくなったことから利用が大幅に減少した。 なお、旧の目標がR7：38,000、R8：43,000、R9：46,000で捉えると目標実績を達成していることも踏まえ、目標値の再設定の検討も必要と分析する。							(令和7年4月～令和8年3月末 79,058回)	

取り組みには紐づかない施策指標

施策シート【17_01】ー 施策指標

観光にぎわい部

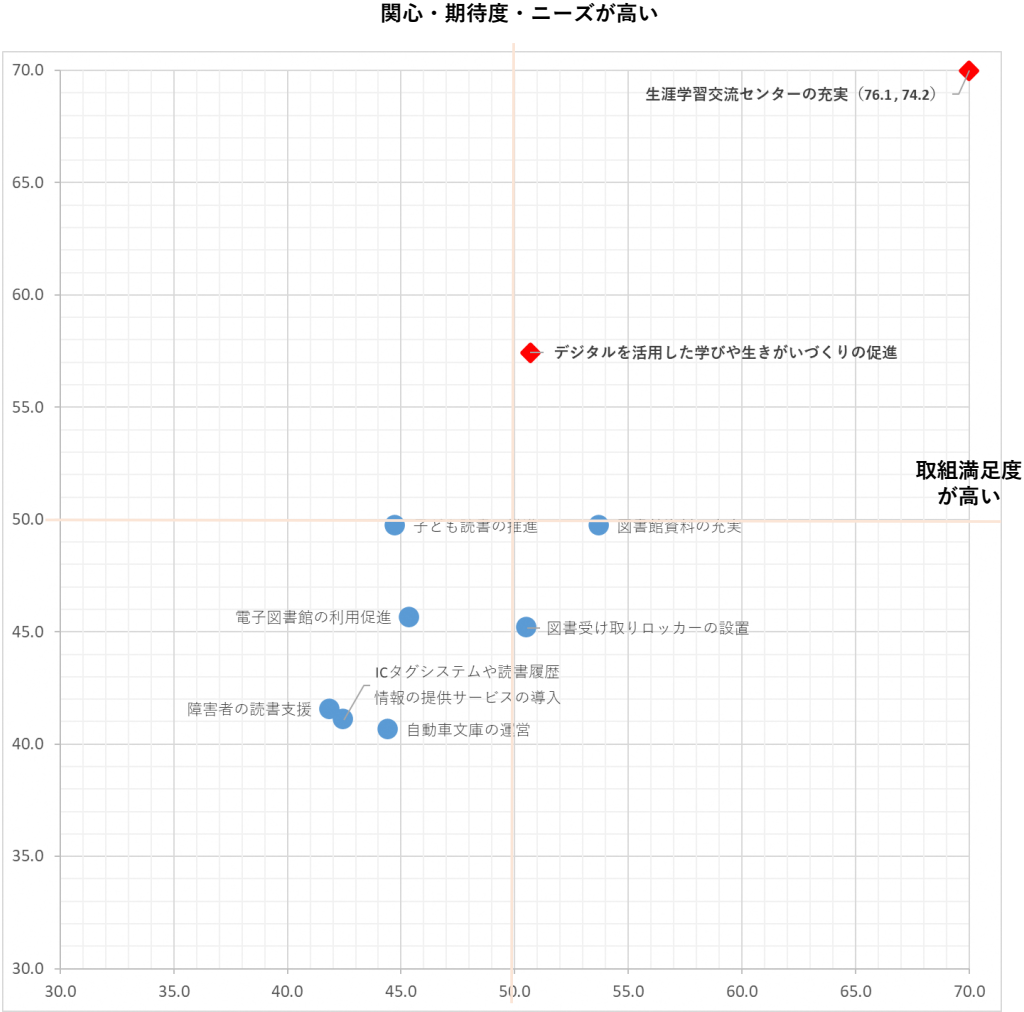
施策名称		生涯学習の推進						
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
生涯学習市民センター利用件数	生涯学習市民センター（9施設）の利用件数	66,000	66,500	67,000	67,500	件	文化生涯学習課	-
各年度の実績		65,509	63,095			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 目標値には達しなかったが、令和5年度の実績値64,495件を上回った。							(令和6年4月～令和7年1月末 53,915件)	
【施策指標の分析 R7】 令和6年度は65,509件の実績を見込んでいたが、牧野北分館が工事のため休館するなどあり、決算値は61,121件となった。令和7年度は目標値には達しなかったが、令和7年度決算値を上回った。							(令和7年4月～令和8年3月末 63,095件)	

4. 取組満足度と関心・期待度・ニーズの4象限マトリクス分析

生きがいを持って学び続けられる環境が整っている
17_01 生涯学習の推進

施策満足度		
満足	不満足	どちらとも いえない わからない
20.7%	11.6%	67.7%
「決め手となった取り組みはない」と回答した人		
46.4%		

※回答数／全体数1,762
※満足しているの定義は、「感じている」「やや感じている」を選択した人で、不満があるの定義は、「あまり感じていない」「感じていない」を選択した人



目指すべき姿
(施策満足度)『防災体制が整っている』に紐づく全取り組み⇒青丸●

上記のうち施策シート『01_02 防災意識の向上』に紐づく取り組み⇒赤ダイヤ◆

施策の分析

- 「1. 生涯学習交流センターの充実」の関心・期待度・ニーズと取組満足度はともに高い。
- 「2. デジタルを活用した学びや生きがいをづくりの促進」の関心・期待度・ニーズは高いものの、取組満足度は平均的である。

5. 評価を踏まえた今後の方向性

今後の方向性

- ・施策全体の方向性として、引き続き、生涯学習の機会の提供等の取り組みを行う。
- ・「2. デジタルを活用した学びや生きがいのづくりの促進」については、引き続き情報発信を強化していく。

6. 施策評価員による評価【外部評価】

施策評価員による評価

- ・生涯学習機会の充実はもとより、デジタル活用の推進が必要ではないか。単なる発信ではなく利用者との双方向の利活用を考えるべきではないか。
- ・コロナ禍のような社会情勢が大きく変わる場合にはやむを得ないが、本来は、目標値を変更するのは望ましくないようにも思う。
- ・高齢者世代の満足度が他世代より低い要因を早急に分析すべきである。
- ・市の催しをコンテンツ化しオンデマンドで提供できれば、子育て世代なども自宅から情報を受け取れるようになり、活用の幅が広がるのではないか。
- ・若い世代と高齢世代で発信方法を分けるべきではないか。デジタル活用への関心の高さを満足度向上に繋げる工夫が必要ではないか。

1. 施策の概要

施策シート【17_02】

総合教育部

施策名称		図書館運営・機能の充実						
総合計画体系		基本目標等	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心をはぐくむまち					
		施策目標等	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち					
めざす姿（主観的満足度）		生きがいを持って学び続けられる環境が整っている						
概要		市民が利用しやすい魅力ある図書館運営と、知の源泉となる図書館機能の充実を図り、豊かな心を育む市民の生涯学習を支援します。						
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度		R7年度		R8年度		R9年度	
	1. 図書受け取りロッカーの設置 ○京阪枚方市駅構内において予約受取ロッカーの運用開始							
	2. ICタグシステムや読書履歴情報の提供サービスの導入 ○市駅前図書館から順次ICタグシステムを導入 ○読書履歴情報の提供サービスの開始				2. ICタグシステムや読書履歴情報の提供サービスの導入 ○図書館全館にICタグシステムの導入完了			
	3. 自動車文庫の運営							
	4. 図書館資料の充実							
	5. 電子図書館の利用促進							
6. 子ども読書の推進								
7. 障害者の読書支援								

2. 市民満足度、取り組み実績および施策指標の分析

市民満足度の分析

【満足度20.7%】

- ・年代別では、19歳以下が最も高く、53.8%である。最も低いのは、70歳台で15.7%であった。
- ・昨年度と比較すると全体では、15.0ポイント減少したものの、若者世代（24歳以下）は9.4ポイント増加した。

取り組み実績および施策指標の分析

【取り組み実績】

- ・施策の進捗としては、概ね達成できている。

【施策指標】

- ・「図書館サービスに係る利用満足度」、「読書相談、レファレンスサービス受付件数」、「ICタグシステムの導入館（室）数累計」、「実利用者数」「図書館貸出冊数（個人・団体）」、「図書館来館者数」については、目標を達成している。
- ・「市駅前図書館サービスに対する満足度」、「点字・録音図書貸出タイトル数」、「電子図書館利用者へのwebアンケートによる利用者満足度」については、未達成だが、目標値には近づいている。
- ・「インターネット経由の予約受付件数」、「児童書の個人貸出冊数全館合計」、「学校や保育所・幼稚園等への団体貸出冊数」については未達成である。

3. 具体的な取り組みの進捗と施策指標の実績

施策シート【17_02】－ 具体的な取り組み

総合教育部

施策名称	図書館運営・機能の充実
------	-------------

1. 図書受け取りロッカーの設置

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
京阪枚方市駅構内に24時間利用可能な予約図書受取ロッカーを設置し、利便性の向上を図る。	京阪枚方市駅構内において予約受取ロッカーの運用を開始	継続	継続	継続	中央図書館
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
・ 予約受取ロッカー空き待ち冊数を注視しつつ、より適正な運用サイクルについて検討する。	令和6年9月より京阪枚方市駅構内にて予約受取ロッカーの運用を開始した。	引き続き、予約受取ロッカーの運用を行っている。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策名称	図書館運営・機能の充実
------	-------------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
インターネット経由の予約受付件数	インターネット経由で予約を受け付けた件数	900,000	1,000,000	1,100,000	1,200,000	件	中央図書館	1. 図書受け取りロッカーの設置
各年度の実績		730,323	779,219			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 目標値の90万件には及ばなかったが、すべての予約受付件数が94万件余りであり、総受付件数の95%を超える必要がある。今後、さらなるインターネットを経由した予約受付の増加を図るとともに、予約受付件数そのものの増加に努める必要があると考える。							令和6年度、943,314件と回答したが、インターネット以外も含めたすべての受付件数を出していたため、修正した。	
【施策指標の分析 R7】 目標値は達成できなかったが、予約の総受付件数の85.6%がインターネットを経由しており、今後も周知PRに努めていく。								
市駅前図書館サービスに対する満足度	窓口アンケート調査による市駅前図書館の平均満足度（蔵書構成・電子図書館・その他図書館サービスについての7項目における「満足」「やや満足」）の回答割合）	80	83	86	89	%	中央図書館	1. 図書受け取りロッカーの設置 2. ICタグシステムや読書履歴情報の提供サービスの導入
各年度の実績		71	80			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 自動貸出機に対する満足度が52.9%と低い結果となった。自由記載では、便利であるという回答が多数寄せられたものの、「利用したことがない。」「扱い方が分からない。」という意見もあり、自動貸出機を使ったことがない方の回答が低い満足度につながったと思われるが、市駅前図書館はスペースの関係上、予約本をセルフ貸出できる予約受取棚を設置していないことから、予約本をカウンターで貸出するため、自動貸出機を利用したことがない人がいることも影響していると考えられる。より多くの方に自動貸出機の利便性を実感してもらうための方法を検討し、満足度向上を目指す。 ※令和6年度、全館で行った窓口アンケート実施時はまだ市駅前図書館が開館前であったため、市駅前図書館独自に行ったアンケートを実績値としている。								
【施策指標の分析 R7】 窓口アンケートの満足度の設問7項目中、4項目において「満足」「やや満足」の回答が80%を超えており、満足度の向上への取り組みについて、効果が上がっていることがうかがえる。 一方、電子図書館サービスの満足度の項目では70%を下回っており、電子図書館サービスの充実とともに電子図書館サービスの情報発信に今後努めていく。 ※令和6年度、全館で行った窓口アンケート実施時はまだ市駅前図書館が開館前であったため、市駅前図書館独自に行ったアンケートを実績値としている。								

施策シート【17_02】ー 具体的な取り組み

総合教育部

施策名称	図書館運営・機能の充実
------	-------------

2. ICタグシステムや読書履歴情報の提供サービスの導入

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
スマートシティの実現や子ども読書活動推進に向け、市駅前図書館をはじめとして、図書館全館にICタグシステムを導入するとともに、読書履歴情報の提供サービス（機器及び記録帳）を導入。	・市駅前図書館設置にあわせ、市駅前図書館から順次（中央図書館は3月予定）ICタグシステムを導入 ・読書履歴情報の提供サービスの運用開始	・7分館（楠葉・牧野・菅原・津田・香里ヶ丘・さだ・御殿山）にICタグシステムを導入 ・読書履歴情報の提供サービスの運用を拡大	・6分室（村野・香里園・枚方公園・宮之阪・藤阪・氷室）にICタグシステムを導入 ・読書履歴情報の提供サービスの運用を拡大	・全館でのICタグシステム運用を継続 ・読書履歴情報の提供サービスの運用を継続	中央図書館
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
・引き続き7分館にICタグシステムを導入する。 ・市内すべての図書館施設に読書履歴印字機器を導入する。	【ICタグシステム導入】 市駅前図書館：令和6年9月 中央図書館：令和7年3月 【読書履歴印字機器導入】 市駅前図書館：令和6年9月 中央図書館・7分館：令和6年11月	【ICタグシステム導入】 香里ヶ丘図書館：令和7年11月 楠葉・菅原・牧野・津田図書館：令和7年9月 さだ図書館：令和7年12月 御殿山図書館：令和8年2月 【読書履歴印字機器導入】 6分室：令和7年10月			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策名称	図書館運営・機能の充実
------	-------------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
読書相談、レファレンスサービス受付件数	読書相談やレファレンス（調べもの相談）を窓口で受け付けた件数。	1,350	2,300	3,600	3,650	件	中央図書館	2. ICタグシステムや読書履歴情報の提供サービスの導入
各年度の実績		2,256	3,548			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 ICタグシステムの導入が進み、レファレンスの周知や職員によるフロアワーク時の声掛けなどにより増加につながったと考えられる。								
【施策指標の分析 R7】 I Cタグシステムを利用した自動貸出機の導入が進んだことにより、貸出手続きに手を取られていた職員がフロアワークに努めた結果と考えられる。								
ICタグシステムの導入館（室）数累計	令和6年度以降導入するICタグシステムの導入館（室）数累計	2	9	15	15	館	中央図書館	2. ICタグシステムや読書履歴情報の提供サービスの導入
各年度の実績		2	9			館	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和6年9月：市駅前図書館導入 令和7年3月：中央図書館導入								
【施策指標の分析 R7】 楠葉・菅原・牧野・津田図書館：令和7年9月 香里ヶ丘図書館：令和7年11月 さだ図書館：令和7年12月 御殿山図書館：令和8年2月								
児童書の個人貸出冊数全館合計	児童書の個人貸出冊数の全館合計	1,150,000	1,620,000	2,210,000	2,250,000	冊	中央図書館	2. ICタグシステムや読書履歴情報の提供サービスの導入
各年度の実績		1,198,054	1,296,634			冊	備考	
【施策指標の分析 R6】 子ども向けの行事の実施や蔵書のメンテナンスを含む効果的な選書が利用に結びつく結果となったと考えられる。								
【施策指標の分析 R7】 昨年度実績を超えているが、目標値には届かないため、さらなる利用促進に努める。								

施策名称	図書館運営・機能の充実
------	-------------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
市駅前図書館サービスに対する満足度	窓口アンケート調査による市駅前図書館の平均満足度（蔵書構成・電子図書館・その他図書館サービスについての7項目における「満足」「やや満足」）の回答割合）	80	83	86	89	%	中央図書館	1. 図書受け取りロッカーの設置 2. ICタグシステムや読書履歴情報の提供サービスの導入
各年度の実績		71	80			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 自動貸出機に対する満足度が52.9%と低い結果となった。自由記載では、便利であるという回答が多数寄せられたものの、「利用したことがない。」「扱い方が分からない。」という意見もあり、自動貸出機を使ったことがない方の回答が低い満足度につながったと思われるが、市駅前図書館はスペースの関係上、予約本をセルフ貸出できる予約受取棚を設置していないことから、予約本をカウンターで貸出するため、自動貸出機を利用したことがない人があることも影響していると考えられる。より多くの方に自動貸出機の利便性を実感してもらうための方法を検討し、満足度向上を目指す。 ※令和6年度、全館で行った窓口アンケート実施時はまだ市駅前図書館が開館前であったため、市駅前図書館独自に行ったアンケートを実績値としている。								
【施策指標の分析 R7】 窓口アンケートの満足度の設問7項目中、4項目において「満足」「やや満足」の回答が80%を超えており、満足度の向上への取り組みについて、効果が上がっていることがうかがえる。 一方、電子図書館サービスの満足度の項目では70%を下回っており、電子図書館サービスの充実とともに電子図書館サービスの情報発信に今後努めていく。 ※令和6年度、全館で行った窓口アンケート実施時はまだ市駅前図書館が開館前であったため、市駅前図書館独自に行ったアンケートを実績値としている。								
実利用者数	1年度中に1回以上図書の貸出サービスを利用した人数	55,100	59,900	59,950	60,000	人	中央図書館	2. ICタグシステムや読書履歴情報の提供サービスの導入 4. 図書館資料の充実
各年度の実績		59,830	60,760			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 魅力的な蔵書構成の構築や、図書館利用につながるイベントの実施などに取り組んだ結果として実利用者数の増加につながったと考えられる。								
【施策指標の分析 R7】 読書履歴を記載できるブックダイアリーの配布など新たな取り組みの効果で新規の利用者の獲得ができたと考えられるが、今後も目標値を上回るよう取り組みを進める必要がある。								

施策シート【17_02】－ 施策指標

総合教育部

施策名称	図書館運営・機能の充実
------	-------------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
図書館貸出冊数（個人・団体）	図書館全館の年間個人・団体貸出冊数	3,900,000	4,400,000	5,000,000	5,200,000	冊	中央図書館	2. ICタグシステムや読書履歴情報の提供サービスの導入 4. 図書館資料の充実
各年度の実績		4,168,650	4,481,969			冊	備考	
【施策指標の分析 R6】 ICタグシステムを中央図書館と市駅前図書館に導入し、利便性の向上を図ったほか、ニーズの高かった読書履歴記帳用冊子（枚方ブックダイアリー）を中央図書館と分館へ導入するなど、新たな取り組みが貸出の増加につながったと考えられる。								
【施策指標の分析 R7】 ICタグの導入により中央図書館とすべての分館で自動貸出機による資料の受け取りが可能になるなどのサービス向上により、目標値を上回ることができた。今後も利用者のニーズに沿ったサービスの展開に努めていく。								
図書館来館者数	図書館（中央図書館・分館・分室）の延べ年間来館者数	1,930,000	2,220,000	2,280,000	2,340,000	人	中央図書館	2. ICタグシステムや読書履歴情報の提供サービスの導入 4. 図書館資料の充実
各年度の実績		2,165,151	2,224,181			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 曜日・祝日も含めて9：00～21：00まで開館している市駅前図書館がオープンし、立地やICタグシステムの導入などにより、来館者数が増えたと考えられる。								
【施策指標の分析 R7】 夏の酷暑、I Cタグシステム導入に伴う休館等があったが年度目標値を上回った。次年度以降も、さらなるサービスの充実を図るとともに図書館の魅力を発信していく。								

施策シート[17_02]ー 具体的な取り組み

総合教育部

施策名称	図書館運営・機能の充実
------	-------------

3. 自動車文庫の運営

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
図書館及び分室を利用することが不便な地域の市民に対して、自動車文庫により図書館サービスを提供することを目的に、市内のステーションを巡回し、図書館資料の貸出・返却・予約受付を実施。	・図書館利用機会を提供 ・機動力を生かして図書館利用の便利さをPRする等の取り組みを実施	継続	継続	継続	中央図書館
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
・市内各ステーションでの利用ニーズに合わせ搭載する図書の選書や特集展示を行い、利用の促進を図る。 各ステーションの新規利用者を増やすためのPRを行う。	・利用ニーズに合わせ、関連図書の積極的な入れ替えや特集展示を企画した。 ・各ステーションでの利用促進のため、利用案内のポスティングや周辺地域を巡回しPRアナウンスや市内で開催されたイベントにも参加し図書館利用促進のPRを行った。	・利用ニーズに合わせ、関連図書の積極的な入れ替えや特集展示を企画した。 ・各ステーションでの利用促進のため、返却ポストに利用を促すポスターの掲示や周辺地域を巡回しPRアナウンス等で図書館利用促進のPRを行った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

※関連指標なし

施策名称	図書館運営・機能の充実
------	-------------

4. 図書館資料の充実

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
幅広くかつ効率的に資料を購入し、図書館資料を充実。	「枚方市立図書館蔵書計画」に基づき、選書した図書を計画的に購入	継続	継続	継続	中央図書館
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
・今後も継続して、統計や利用傾向などの情報を活用しつつ、幅広くかつ効率的に資料を購入し、図書館資料を充実させる。	令和6年度購入冊数 61,177冊	令和7年度購入冊数 34,793冊（R8.2月末時点） ※確定値は5月中旬に判明予定			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
図書館サービスに係る利用満足度	窓口アンケート調査による全館平均満足度（蔵書構成・電子図書館・その他図書館サービスについての7項目における「満足」「やや満足」）の回答割合）	80	83	86	89	%	中央図書館	2. ICタグシステムや読書履歴情報の提供サービスの導入 4. 図書館資料の充実 5. 電子図書館の利用促進
各年度の実績		79	83			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 質問項目のうち、目標値を下回ったのは、イベントや情報発信に関する満足度であった。自由記載からは、アンケートによって図書館が実施する様々なサービスを知ったという回答も多くあり、利用者ニーズを踏まえたサービスを実施すると同時に、対象者に届けるための効果的な情報発信に取り組んでいく必要があると考える。								
【施策指標の分析 R7】 図書館サービスの満足度について目標値を達成でき、取り組みについて効果が上がっている。また、満足度についての7項目の設問中、5問において80%以上が「満足」「やや満足」との回答をもらった。 一方、インターネットを通じた情報発信での満足度では70%を下回っていることから、目標達成に向け取り組みの充実を図る。								

施策名称	図書館運営・機能の充実
------	-------------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
実利用者数	1年度中に1回以上図書の貸出サービスを利用した人数	55,100	59,900	59,950	60,000	人	中央図書館	2. ICタグシステムや読書履歴情報の提供サービスの導入 4. 図書館資料の充実
各年度の実績		59,830	60,760			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 魅力的な蔵書構成の構築や、図書館利用につながるイベントの実施などに取り組んだ結果として実利用者数の増加につながったと考えられる。								
【施策指標の分析 R7】 読書履歴を記載できるブックダイアリーの配布など新たな取り組みの効果で新規の利用者の獲得ができたと考えられるが、今後も目標値を上回るよう取り組みを進める必要がある。								
図書館貸出冊数（個人・団体）	図書館全館の年間個人・団体貸出冊数	3,900,000	4,400,000	5,000,000	5,200,000	冊	中央図書館	2. ICタグシステムや読書履歴情報の提供サービスの導入 4. 図書館資料の充実
各年度の実績		4,168,650	4,481,969			冊	備考	
【施策指標の分析 R6】 ICタグシステムを中央図書館と市駅前図書館に導入し、利便性の向上を図ったほか、ニーズの高かった読書履歴記帳用冊子（枚方ブックダイアリー）を中央図書館と分館へ導入するなど、新たな取り組みが貸出の増加につながったと考えられる。								
【施策指標の分析 R7】 ICタグの導入により中央図書館とすべての分館で自動貸出機による資料の受け取りが可能になるなどのサービス向上により、目標値を上回ることができた。今後も利用者のニーズに沿ったサービスの展開に努めていく。								
図書館来館者数	図書館（中央図書館・分館・分室）の延べ年間来館者数	1,930,000	2,220,000	2,280,000	2,340,000	人	中央図書館	2. ICタグシステムや読書履歴情報の提供サービスの導入 4. 図書館資料の充実
各年度の実績		2,165,151	2,224,181			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 曜日・祝日も含めて9：00～21：00まで開館している市駅前図書館がオープンし、立地やICタグシステムの導入などにより、来館者数が増えたと考えられる。								
【施策指標の分析 R7】 夏の酷暑、I Cタグシステム導入に伴う休館等があったが年度目標値を上回った。次年度以降も、さらなるサービスの充実を図るとともに図書館の魅力を発信していく。								

施策シート[17_02]ー 具体的な取り組み

総合教育部

施策名称	図書館運営・機能の充実
------	-------------

5. 電子図書館の利用促進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
①電子図書館システムの導入により、コロナ禍以後の生活様式に対応した非来館型サービスを提供。 ②読み上げ機能を備えた電子図書館システムを導入することにより、視覚障害者や学習障害者等の活字での読書が困難な方へのサービスを実施。 ③市内全児童・生徒に貸与されたタブレットによる、電子書籍を活用した学校教育の支援。	・電子書籍の追加購入 ・電子図書館の周知 ・児童書の「読み放題パック」を継続購入	継続	継続	継続	中央図書館
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
・ニーズを図りながら、魅力的な電子書籍を追加購入する。児童書の「読み放題パック」も内容を入れ替えつつ継続購入する。	・児童書の「読み放題パック」を新たに562タイトルを購入した。 ・各館で電子図書館の使い方説明会を実施した。	・児童書の「読み放題パック」を614タイトル,その他一般書を含め506タイトルを購入した。 ※確定値は5月中旬に判明予定 ・各館で電子図書館の使い方説明会を実施した。			
年度ごとの達成状況	○	○			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
電子図書館利用者へのwebアンケートによる利用者満足度	ロゴフォームを活用した電子図書館利用者へのWEBアンケート結果に基づく利用者満足度	80以上	80以上	80以上	80以上	%	中央図書館	5. 電子図書館の利用促進
各年度の実績		53	59			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 電子図書館の利用者からは利便性が評価された一方で、やや不満・不満の理由として、読みたい電子書籍がないことが挙げられた。また、アンケート回答者の半数以上が「電子図書館を知らなかった」という結果となり（144/259件）、サービスのさらなる周知が必要と考える。利用者ニーズを把握しながら、今後の電子図書館の在り方について検討し、事業の周知と利用者満足度の向上を目指す。								
【施策指標の分析 R7】 昨年度に引き続き、利用において時間や場所を選ばない利便性が評価された一方、不満の理由として読みたい電子図書がないことを挙げられた回答者が8割を占めた。また、昨年度から微減したが、まだ半数を超える回答者が電子図書館を知らないとの回答した。今後、利用者のニーズに合った蔵書構成と電子図書館サービスの事業周知を図る。								
図書館サービスに係る利用満足度	窓口アンケート調査による全館平均満足度（蔵書構成・電子図書館・その他図書館サービスについての7項目における「満足」「やや満足」の回答割合）	80	83	86	89	%	中央図書館	2. ICタグシステムや読書履歴情報の提供サービスの導入 4. 図書館資料の充実 5. 電子図書館の利用促進
各年度の実績		79	83			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 質問項目のうち、目標値を下回ったのは、イベントや情報発信に関する満足度であった。自由記載からは、アンケートによって図書館が実施する様々なサービスを知ったという回答も多くあり、利用者ニーズを踏まえたサービスを実施すると同時に、対象者に届けるための効果的な情報発信に取り組んでいく必要があると考える。								
【施策指標の分析 R7】 図書館サービスの満足度について目標値を達成でき、取り組みについて効果が上がっている。また、満足度についての7項目の設問中、5問において80%以上が「満足」「やや満足」との回答をもらった。 一方、インターネットを通じた情報発信での満足度では70%を下回っていることから、目標達成に向け取り組みの充実を図る。								

施策名称	図書館運営・機能の充実
------	-------------

6. 子ども読書の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
子どもがたくさんの本と出会うことができるように、基金を積み立て、その基金を使って絵本や児童書を購入し学校や保育所（園）、幼稚園、地域の子育て団体に提供。また、購入した児童書を、授業での調べ学習や読み聞かせ、朝読書、朗読会等で活用。	・絵本や児童書を購入し、学校や保育所（園）、幼稚園、地域の子育て団体に提供 ・授業での調べ学習や読み聞かせ、朝読書、朗読会等の活用	継続	継続	継続	中央図書館
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
・今後も継続して、基金を積み立て、基金を使って絵本や児童書を購入し学校や保育所（園）、幼稚園、地域の子育て団体に提供し、授業での調べ学習や読み聞かせ、朝読書、朗読会にも活用する。	令和6年度購入冊数 1,421冊 電子書籍 562タイトル	令和7年度購入冊数 4,984冊 電子書籍 685タイトル			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
学校や保育所・幼稚園等への団体貸出冊数	学校や保育所・幼稚園等に届ける団体貸出の冊数	73,000	81,000	89,000	99,000	冊	中央図書館	6. 子ども読書の推進
各年度の実績		65,304	68,798			冊	備考	
【施策指標の分析 R6】 団体貸出は団体の規模や活動頻度によって利用に影響を受けるもので、団体の活動に効果的な団体貸出用資料の充実が課題であると考えられる。								
【施策指標の分析 R7】 全小中学校に学校司書が配置され、学校への団体貸出冊数が前年度より増えた。他の施設での利用も増えている。目標値には届かないが、引き続き子ども読書の推進に努める。								

施策名称	図書館運営・機能の充実
------	-------------

7. 障害者の読書支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
障害者等の利用促進を図ることを目的として、障害のある利用者等の読書環境を整備するとともに、音訳協力者等を養成。	読書バリアフリー法をふまえ、障害者に対する読書支援の実施	継続	継続	継続	中央図書館
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
録音図書、対面読書等の利用の促進を図るとともに、音訳協力者の技術の向上にも努め、これまで通り、より良いサービスを提供していく。	バリアフリー関連資料の購入・録音図書(デージー図書)を製作した。対面読書を実施した。手話でたのしむおはなし会、読書バリアフリー講演会、バリアフリー映画上映会を実施した。	バリアフリー関連資料の購入・録音図書(デージー図書)を製作した。対面読書や図書宅配サービスを実施した。手話でたのしむおはなし会、読書バリアフリー講演会、バリアフリー映画上映会、手話ブックトークを実施した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
点字・録音図書貸出タイトル数	点字・録音図書の貸出タイトル数	3,100	3,200	3,400	3,500	タイトル	中央図書館	7. 障害者の読書支援
各年度の実績		2,687	2,802			タイトル	備考	
【施策指標の分析 R6】 高齢化社会が進む中、読書のバリアフリー化が求められており、図書館のバリアフリーサービスが浸透してきたと考えられる。								
【施策指標の分析 R7】 目標値には届かなかったものの、前年度の実績をクリアした。今後も図書館のバリアフリーサービスの展開に努める。								

4. 取組満足度と関心・期待度・ニーズの4象限マトリクス分析

関心・期待度・ニーズが高い

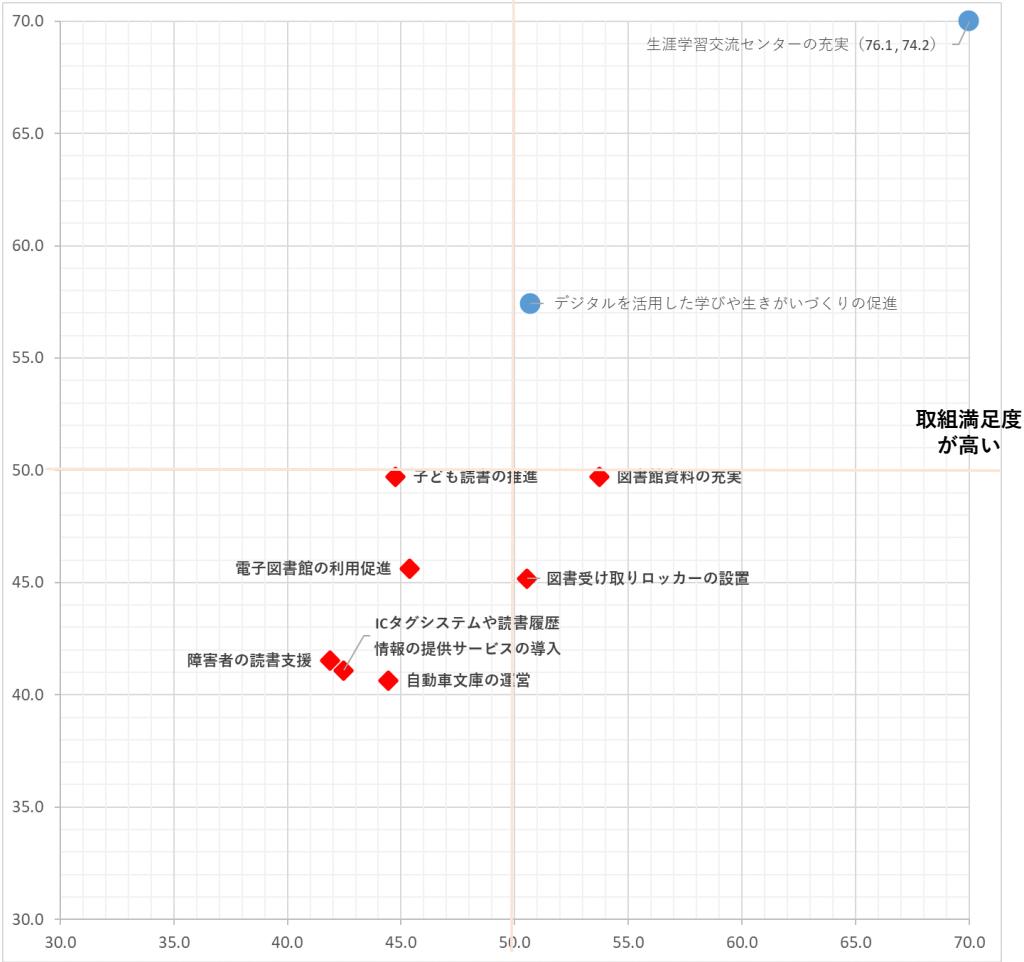
生きがいを持って学び続けられる環境
17_02 図書館運営・機能の充実

施策満足度		
満足	不満足	どちらとも いえない わからない
20.7%	11.6%	67.7%
「決め手となった取り組みはない」と 回答した人		
46.4%		

※回答数／全体数1,762

※満足の定義は、「感じている」「やや感じている」を選択した人
不満足の定義は、「あまり感じていない」「感じていない」を選択した人

※各施策における取組満足度や関心・期待度・ニーズを分析するものであり、異なる施策間での比較を行うものではありません。



目指すべき姿
(施策満足度)『生きがいを持って学び続けられる環境』に紐づく全取り組み⇒青丸●

上記のうち施策シート『17_02 図書館運営・機能の充実』に紐づく取り組み⇒赤ダイヤ

施策の分析

- ・「1. 図書受け取りロッカーの設置」「4. 図書館資料の充実」「5. 電子図書館の利用促進」「6. 子ども読書の推進」の関心・期待度・ニーズと取組満足度はともに平均的である。
- ・「2. ICタグシステムや読書履歴情報の提供サービスの導入」、「3. 自動車文庫の運営」、「7. 障害者の読書支援」の関心・期待度・ニーズと取組満足度はともに低い。

5. 評価を踏まえた今後の方向性

今後の方向性

- ・施策全体の方向性として、利用者ニーズを踏まえたサービスの実施やコンテンツの充実を図るとともに、幅広く届けるための効果的な情報発信に取り組んでいく。
- 特に、「電子図書館の利用促進」については、アンケートで読みたい電子図書がないことが回答者の8割を占めたことから、引き続きニーズ把握に基づいた選書による、満足度向上に向け、取り組んでいく。
- ・幼児期、児童期の読書習慣は、言語能力や情報活用能力の育成につながることから、子ども読書の推進やターゲットに対する取り組みをより進めていく。

6. 施策評価員による評価【外部評価】

施策評価員による評価

- ・DXの進展でニーズは大きく変化している。選書やサービスが利用者の意向を客観的に反映できているか、サービスや運営のあり方を検討すべきではないか。
- ・図書館利用者との双方向のやり取りを重視し、おすすめ本のポップ作成など、愛着が芽生える工夫を検討してはどうか。
- ・読みたい本がないといった不満データから選書改善へ繋げた対応はエビデンスに基づく好事例である一方、より多くの市民の利用に向けて図書館の利用者と未利用者の評価の乖離を分析する必要があるのではないか。
- ・市HPが検索しづらく、電子図書館も見つけにくい。児童については、学校支給のタブレットに推奨図書などの検索を行いやすいプラットフォームのインストールなど、使いやすさ向上等を求める。
- ・読書習慣は、教育水準の向上や心の豊かさに直結する。世代間で情報発信を分けるなどの工夫の継続を要望する。

1. 施策の概要

施策シート【17_03】

観光にぎわい部

施策名称		文化芸術活動の推進			
総合計画体系	基本目標等	3. 一人ひとりの成長を支え、豊かな心をはぐくむまち			
	施策目標等	17. 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			
めざす姿（主観的満足度）		文化芸術に親しめる環境が整っている			
概要		市民による身近な文化芸術活動を促進するとともに、文化芸術に対する市民の関心及び理解を深める取り組みを進める。			
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度				

2. 市民満足度、取り組み実績および施策指標の分析

市民満足度の分析

【満足度48.1%】

- ・年代別では、20歳台が最も高く、56.5%である。最も低いのは、19歳以下で38.5%であった。
- ・昨年度と比較すると全体では13.8ポイント減少したものの、若者世代（24歳以下）で2.4ポイント増加した。

取り組み実績および施策指標の分析

【取り組み実績】

- ・施策の進捗としてはすべて達成できている。

【施策指標】

- ・「総合文化芸術センターの自主事業における利用者数」については、指標値の70%を目標値としていることから概ね目標値を達成した。「総合文化芸術センターの主要な施設の来館者見込」については未達成である。

3. 具体的な取り組みの進捗と施策指標の実績

施策シート【17_03】ー 具体的な取り組み

観光にぎわい部

施策名称	文化芸術活動の推進
------	-----------

1. 文化芸術活動の充実

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
総合文化芸術センターにおいて国内外の著名なアーティストを招聘した鑑賞事業を実施	国内外の著名なアーティストを招聘した鑑賞事業の提案を含め、指定管理者を選定	次期指定管理者の運営による鑑賞事業等の拡充	継続	継続	文化生涯学習課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
総合文化芸術センターにおいて、国内外の著名なアーティストを招聘した鑑賞事業を指定管理者の自主事業として毎年実施していく。	●令和7年度から5年間の指定管理期間における指定管理者を選定した。 ●主な鑑賞事業 ・HIMARI×吉田恭子 DUO コンサート ・レ・ヴァン・フランセ ・大阪フィルハーモニー交響楽団公演 ・関西フィルハーモニー管弦楽団公演	●総合文化芸術センター第二期の指定管理者（第一期と同じ事業者）による事業開始。 ●主な鑑賞事業 ・読売日本交響楽団 枚方公演 原田慶太楼×HIMARI ・PUFFY 「Road to 30」 ・ららら♪ クラシックコンサート ミュージカル・ガラ・コンサート ・ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団			
年度ごとの達成状況	○	◎			

施策シート【17_03】ー 施策指標

観光にぎわい部

施策名称		文化芸術活動の推進						
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
総合文化芸術センターの自主事業における利用者数	総合文化芸術センター指定管理者が大小ホールで実施する自主事業における利用者最大枠 ※1期目の指定管理期間がR6で終了し、R7から2期目となることから、変更となる場合がある。	48,500	48,500	48,500	48,500	人	文化生涯学習課	1. 文化芸術活動の充実
各年度の実績		39,372	33,628			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 ホール事業においては、利用者最大枠の70%を目標値としており、実績値が約79%であったことから、目標値を達成した。							(令和6年4月～令和7年1月末 32,004人)	
【施策指標の分析 R7】 ホール事業においては、利用者最大枠の70%を目標値としており、R7の実績値は69.3%で概ね、目標値を達成できた。							(令和7年4月～令和8年1月末 23,402人)	

施策シート【17_03】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部

施策名称	文化芸術活動の推進
------	-----------

2. 総合文化芸術センターを拠点とする文化芸術の振興

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
多彩な文化芸術の鑑賞、創造及び普及活動並びに文化芸術を支える人材を育成し、本市の文化芸術の振興を図るとともに、人々の交流の促進や都市の魅力向上に寄与する拠点として、総合文化芸術センターを運営する。	貸館の利用率向上、利用者数増加のために魅力的かつ多彩な事業の実施	継続	継続	継続	文化生涯学習課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
文化芸術活動の拠点施設として、総合文化芸術センターの円滑な運営に努める。	総合文化芸術センターの利用率向上を図るため、多彩な自主事業を実施した。 ●鑑賞事業・・・43本 ●創造発信事業・・・2本 ●若手支援・次世代育成型事業・・・6本 ●社会包摂・普及事業・・・14本 ●諸室活用事業・・・2本 ●美術関連事業・・・14本	総合文化芸術センターの利用率向上を図るため、多彩な事業を実施した。 【事業件数：見込】 ●鑑賞事業・・・32本 ●創造発信事業・・・2本 ●若手支援・次世代育成型事業・・・9本 ●社会包摂・普及事業・・・7本 ●ワークショップ・・・3本 ●諸室活用事業・・・2本 ●地域連携事業・・・1本 ●美術関連事業・・・2本 ※参考：指定事業・31本			
年度ごとの達成状況	○	◎			

施策シート【17_03】－ 施策指標

観光にぎわい部

施策名称	文化芸術活動の推進
------	-----------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
総合文化芸術センターの主要な施設の来館者見込	総合文化芸術センターの大ホール・小ホール・イベントホール・美術ギャラリーの年間来館者数	331,000	331,000	331,000	331,000	人	文化生涯学習課	2. 総合文化芸術センターを拠点とする文化芸術の振興
各年度の実績		272,597	260,280			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 目標値を達成できなかった主因は、貸館による大ホールの来館者数が少なかったことであるから、貸館での来館者数を増えるよう取り組んでいく。							(令和6年4月～令和7年1月末 218,626人)	
【施策指標の分析 R7】 大ホール・イベントホールの来館者数が減少しており、貸館での来館者数が増えるよう取り組んでいく。							(令和7年4月～令和8年1月末 207,858人)	

4. 取組満足度と関心・期待度・ニーズの4象限マトリクス分析

関心・期待度・ニーズが高い

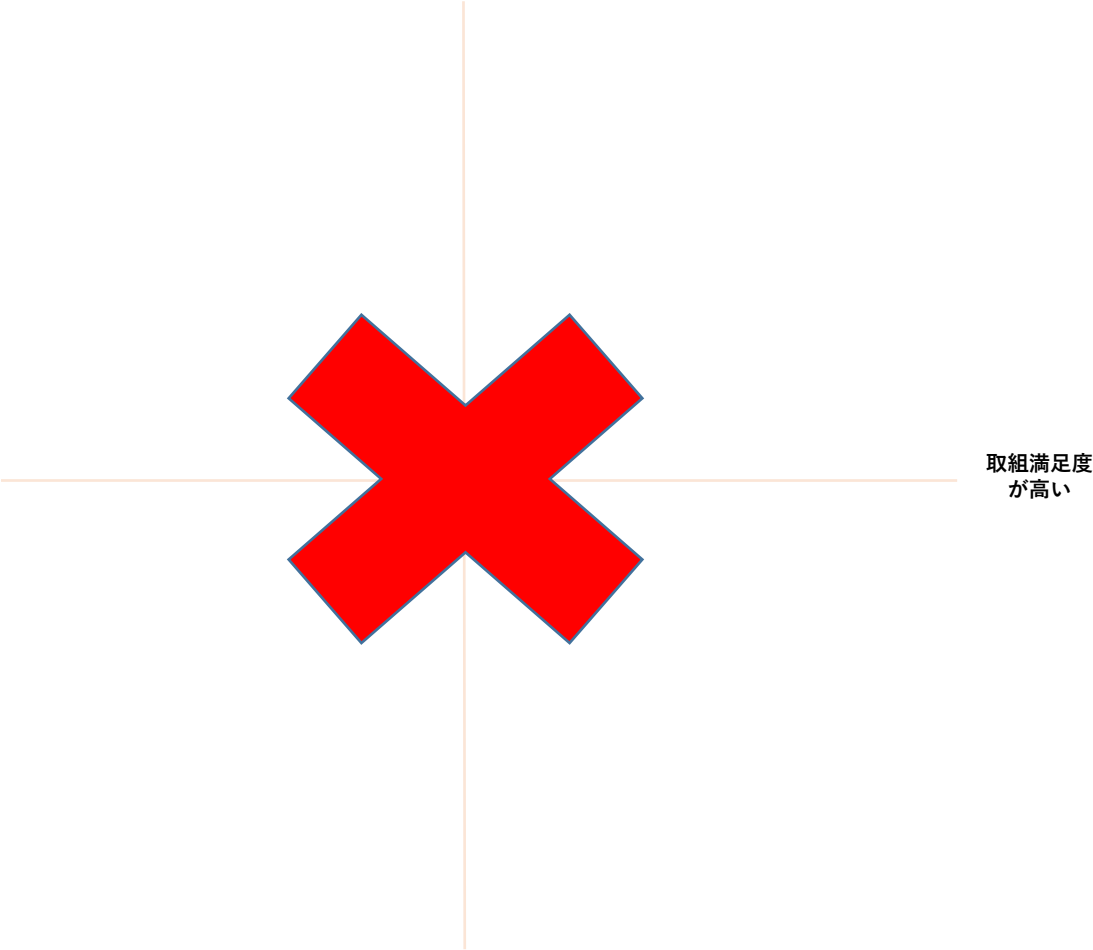
生きがいを持って学び続けられる環境
17_03 文化芸術活動の推進

施策満足度		
満足	不満足	どちらとも いえない わからない
48.1%	10.8%	41.1%
「決め手となった取り組みはない」と 回答した人		
27.6%		

※回答数／全体数1,762

※満足の定義は、「感じている」「やや感
じている」を選択した人で、
不満足の定義は、「あまり感じていな
い」「感じていない」を選択した人

※各施策における取組満足度や関心・期待・
ニーズを分析するものであり、異なる施策
間での比較を行うものではありません。



施策の分析

※取り組みが2つのためマトリクス分析不可

- ・文化芸術活動の充実
- ・総合文化芸術センターを拠点とする文化芸術の振興

5. 評価を踏まえた今後の方向性

今後の方向性

- ・施策全体の方向性として、文化芸術活動の推進に向けて、市民参加型の公演を実施するなど、魅力的なコンテンツを一層充実させることで、文化芸術に触れる機会の創出と多くの人々の交流による賑わいづくりに取り組む。

1. 施策の概要

施策シート【17_04】

観光にぎわい部、総合教育部

施策名称		スポーツ活動の推進				
総合計画体系	基本目標等	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心をはぐくむまち				
	施策目標等	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち				
めざす姿（主観的満足度）		気軽にスポーツ活動ができる環境が整っている				
概要		誰もが気軽にスポーツに親しみ、年齢や興味または関心に応じたスポーツ・レクリエーション活動ができる環境づくりを進める。				
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度	R7年度			R8年度	R9年度

2. 市民満足度、取り組み実績および施策指標の分析

市民満足度の分析

【満足度30.3%】

- ・年代別では、20歳台が最も高く、60.9%である。最も低いのは、70歳台で23.5%であった。
- ・昨年度と比較すると全体では、11.6ポイント減少したが、熟年世代（45～64歳）では6.1ポイントの減少にとどまっている。

取り組み実績および施策指標の分析

【取り組み実績】

- ・「1. 観るスポーツの環境の充実」、「8. 市立小中学校等の施設開放」、「9. 野外活動センターの利用促進及びリニューアル」において一部未達成であるものの、それ以外の取り組みについては、概ね達成できている。

【施策指標】

- ・「トップスポーツチームとの連携事業の回数」、「参加者満足度（アンケート）」、「eスポーツイベント参加者のうち満足した人の割合」、「地域スポーツへのコーディネート、コンサルティングに対する満足度」、「施設開放の年間利用者数」、「淀川河川公園スケートボードパークの整備率」については目標を達成している。
- ・「各大会等の参加者数」、「スポーツ少年団の登録団員数」、「発掘・育成された指導者や支援者の派遣回数」、「施設の市内小中学生等の利用者数（日帰り・宿泊）」、「スポーツ施設利用者数」については、未達成である。

3. 具体的な取り組みの進捗と施策指標の実績

施策シート【17_04】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部、総合教育部

施策名称	スポーツ活動の推進
------	-----------

1. 観るスポーツの環境の充実

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
本市を拠点とするトップスポーツチームの環境充実を含めた、観るスポーツの拠点整備の可能性について検討。	・適地、財源等の可能性検討（スタジアム等） ・環境充実に向けた整備方針の検討	・適地、財源等の可能性検討（スタジアム等） ・整備方針の具体化	施設整備の方向性をまとめる	準備・検討	スポーツ振興課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
トップスポーツチームの環境充実に向けて、既存施設の可能性等も含め、課題の洗い出しを行った。引き続き、関係団体と協議を行い検討を進める。	・本市に拠点を有するプロスポーツチームと適地、財源等の可能性について協議を行った。	・スタジアム整備に向け、事業者の提案に対応できるよう、意見交換等を行った。			
年度ごとの達成状況	○	○			

※関連指標なし

施策名称	スポーツ活動の推進
------	-----------

2. トップスポーツチームと連携した観る・するスポーツの推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
より質の高いスポーツに親しむことができるよう、トップスポーツチームと連携した観る・するスポーツを推進。	・トップスポーツチームとの連携 ・オリンピック関連イベントの実施	推進	推進	推進	スポーツ振興課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
トップスポーツチームとの連携をより深め、選手との交流機会や質の高いスポーツに親しめるよう、引き続き、トップチームと連携強化を図り、観るスポーツ、するスポーツの推進につなげていく。	・新たに、花園近鉄ライナーズと連携協定を締結した。 ・大阪ブルテオン、FCティアモ、花園近鉄ライナーズと連携し、市民応援デーの開催や子どもを対象としたスポーツ教室を実施した。あわせて、3チームの応援用横断幕等を作成し、PRを行った。 ・本市ゆかりの選手を地元トップアスリートチームとともに応援するパリ2024オリンピックのパブリックビューイングを開催した。	・大阪ブルテオン、FCティアモ、花園近鉄ライナーズと連携し、市民応援デーの開催や子どもを対象としたスポーツ教室を実施した。あわせて、3チームの応援用グッズを作成し、PRを行った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
トップスポーツチームとの連携事業の回数	ホームタウンチームをはじめとしたトップスポーツチームと連携した事業の回数。	20	22	24	26	回	スポーツ振興課	2. トップスポーツチームと連携した観る・するスポーツの推進
各年度の実績		21	25			回	備考	
【施策指標の分析 R6】 大阪ブルテオン、FCティアモと連携し、市民応援デーの開催や子どもを対象とした交流事業を開催した。 令和6年度は、新たに花園近鉄ライナーズと協定を締結し、市民応援デーを開催するなど連携事業を実施したことなどにより、目標値を達成した。								
【施策指標の分析 R7】 各チームにおいて市民応援デーの開催や子どもを対象とした交流事業を積極的に開催し、実施回数が増加した。								

施策シート【17_04】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部、総合教育部

施策名称	スポーツ活動の推進
------	-----------

3. (1) スポーツイベントの開催（トップアスリートとふれあう機会の提供）

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
青少年の健全な育成、子どもたちのスポーツに対する関心を高め夢を育むため、トップアスリートとのふれあい事業を実施。	・より子どもたちの関心の高いトップアスリートの招聘や種目の検討 ・子どもたちと触れ合う機会を提供	継続	継続	継続	スポーツ振興課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
アンケート結果などを踏まえ、子どもたちの関心が高いトップアスリートを招聘することで、スポーツに対する関心へつなげていく。	・人気トップアスリート（プロサッカー選手／堂安律選手）を招聘し、サッカーやブラインドサッカーなど様々な種目の体験会やトークイベント（参加者1,129人）を開催した。	・陸上競技種目の各トップアスリートを招聘し、走る・跳ぶ・投げるといった様々な種目の体験会やトークイベント（参加者988人）を開催した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
参加者満足度（アンケート）	参加者へのアンケート調査により測定した満足度（満足と回答した件数/総回答件数）	85	95	95	95	%	スポーツ振興課	3. (1) スポーツイベントの開催（トップアスリートとふれあう機会の提供）
各年度の実績		98.1	99.5			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 人気トップアスリートの招聘や、トークイベントや体験などの様々なプログラムを取り入れることで参加者を飽きさせない工夫を行ったことが満足度向上につながった。								
【施策指標の分析 R7】 参加者（子ども）、観覧者（保護者）ともに満足度は高く、トップアスリートによるトークショーや直接指導が好評であったことが、満足度向上につながった。								

施策シート【17_04】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部、総合教育部

施策名称	スポーツ活動の推進
------	-----------

3. (2) スポーツイベントの開催（各種スポーツ大会等の開催）

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
市民のスポーツ振興を図るため、各種スポーツ大会等を実施。 ①各種競技大会（総合体育大会等） ②市内高校バレーボール大会 ③ラグビーカーニバル	・各種競技大会（総合体育大会等）、市内高校バレーボール大会、ラグビーカーニバル事業の実施 ・前年度の実施状況を踏まえた内容の整理・充実	継続	継続	継続	スポーツ振興課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
引き続き、多くの競技ごとの大会を開催することで、市民のスポーツ機会の提供に繋げる。	・春季・秋季総合大会等をはじめ、年間を通して各種競技の大会（6大会）を開催した。 ・市内高校バレーボール大会として、市内の高校バレーボール部が参加する大会（参加校9校）を開催した。 ・ラグビーカーニバルとして、初心者体験会や招待試合（参加者1,350人）などを行った。	・春季・秋季総合大会等をはじめ、年間を通して各種競技の大会（6大会）を開催した。 ・市内高校バレーボール大会として、市内の高校バレーボール部が参加する大会（参加校9校）を開催した。 ・ラグビーカーニバルとして、初心者体験会や招待試合（参加者1,442人）などを行った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【17_04】－ 施策指標

観光にぎわい部、総合教育部

施策名称	スポーツ活動の推進
------	-----------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
各大会等の参加者数	総合体育大会等の各種大会・イベントに参加した人数	21,000	21,500	22,000	22,500	人	スポーツ振興課	3.（2）スポーツイベントの開催 （各種スポーツ大会等の開催）
各年度の実績		17,040	16,887			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 ラグビーカーニバルは毎年同時期に開催していることから、イベントの認知につながっており、体験会の参加者数の増加につながった。また、総合体育大会等の各種競技大会は天候により開催できなかった大会があり、参加人数は減少したため、目標数値には至らなかった。								
【施策指標の分析 R7】 ラグビーカーニバルは車いすラグビーの体験などプログラムを増やした結果、参加者数は増加した。一方、総合体育大会は、加盟団体会員数の減少や他大会との日程の重複などが影響し、目標数値には至らなかった。								

施策シート【17_04】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部、総合教育部

施策名称	スポーツ活動の推進
------	-----------

3. (3) スポーツイベントの開催（スポーツ少年団の活動支援）

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
少年にスポーツに接する機会を与え、より多くのスポーツを通じ身体的・精神的両面の健全育成に寄与することを目的として、スポーツ少年団活動がより活発となるよう支援。（少年団は、市内の3歳以上の団員10人以上と満20歳以上の指導者により構成。）	・スポーツ少年団に対して補助金を交付 ・必要に応じて活動内容の確認や活性化に向けた助言を行う	継続	継続	継続	スポーツ振興課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
指導者不足により団体数が減少傾向にあり、団員数もコロナ前より減少となっているため、今後はスポーツ少年団の活動を周知するなど普及活動を行う必要がある。	子どものスポーツの環境の充実を行うスポーツ少年団（39団体）の活動に対して、補助金を交付した。	子どものスポーツの環境の充実を行うスポーツ少年団（35団体）の活動に対して、補助金を交付した。			
年度ごとの達成状況	◎	○			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
スポーツ少年団の登録団員数	スポーツ少年団に登録している団員の人数	850	900	1,000	1,050	人	スポーツ振興課	3. (3) スポーツイベントの開催（スポーツ少年団の活動支援）
各年度の実績		873	777			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 指導者不足により団体数は減少したが、団員数は微増となった。								
【施策指標の分析 R7】 4 団体減少したことにより団員数は減少し、目標数値には至らなかった。								

施策シート【17_04】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部、総合教育部

施策名称	スポーツ活動の推進
------	-----------

4. スケートボードパークの整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
アーバンスポーツの環境充実のため、市内のスケートボードパークを整備・拡充。	準備・検討	事業者選定・設計	設計・工事	管理運営	スポーツ振興課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
施設整備の事業者が決定したことから、令和9年度のスケートボードパーク供用開始に向け、施設整備を進めるとともに、管理運用について検討を行う。	淀川河川公園内でのスケートボードパーク整備に向け、淀川河川事務所との協議などを行った。	スケートボードパーク整備の事業者を公募。事業者選定委員会において事業者を選定。設計・工事の契約締結を行った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
淀川河川公園スケートボードパークの整備率	スケートボードパークの整備率	－	50	100	100	%	スポーツ振興課	4. スケートボードパークの整備
各年度の実績		－	50			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 －								
【施策指標の分析 R7】 スケートボードパーク整備の事業者を公募。事業者を選定し、設計・工事の契約締結を行った。								

施策名称	スポーツ活動の推進
------	-----------

5. eスポーツを活用した事業の展開

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
枚方市スポーツ協会や民間のスポーツ施設などと連携し年齢や性別、障害の有無に関わらず、誰もが参加できるeスポーツを展開。	試行実施（eスポーツイベントなどの事業展開）	事業検証の上、見直し・拡充	継続	継続	スポーツ振興課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
引き続き、eスポーツを活用した事業を行うことで、年齢や性別、障害の有無に関わらず誰もが参加できるeスポーツの機会を提供していく。	・本市主催のスポーツイベント（2事業）においてeスポーツ体験会を実施した。 ・介護予防や児童の不登校支援等の社会課題解決に向けたeスポーツを活用した取り組みを実施した。 ・スポーツ協会において、障害者を対象としたeスポーツ体験会（1回）を実施した。	・本市主催のスポーツイベントにおいてeスポーツ体験会（4回）実施した。 ・介護予防など社会課題解決に向けたeスポーツを活用した取り組みを実施した。 ・スポーツ協会において、無関心層や障害者等を対象としたeスポーツ体験会（3回）を実施した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
eスポーツイベント参加者のうち満足した人の割合	eスポーツイベント参加者へのアンケート調査により測定した満足度（満足と回答した件数/総回答件数）	85	95	95	95	%	スポーツ振興課	5. eスポーツを活用した事業の展開
各年度の実績		93.3	100			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 座って行うことができる内容を実施したことで、障害の程度に関係なく、様々な方が参加できたことが、参加者の満足度につながった。								
【施策指標の分析 R7】 昨年度と比較して一人当たりのプレイ時間が拡大したことが、参加者の満足度向上につながった。								

施策シート【17_04】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部、総合教育部

施策名称	スポーツ活動の推進
------	-----------

6. 地域・競技スポーツのコンサルティング

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
市民のライフステージに応じたスポーツ機会の提供。 ①地域（PTA等）や障害者団体のスポーツイベント開催に際し、専門的な知識を活かして企画・運営のコーディネートを実施。 ②ノウハウを持ったスタッフをスポーツボランティアとして派遣するなど、地域スポーツを総合的なコンサルティングを実施。 ③ニュースポーツの普及や指導者育成に関する助言を実施。	地域スポーツ・健康経営・障がい者スポーツのコンサルティングを実施	継続	継続	継続	スポーツ振興課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
より多くの団体や企業などからの企画・提案がなされるよう、相談窓口の存在や活用方法の周知を強化するなど広報活動の充実が必要。	・個人や地域コミュニティ等のスポーツプログラムの実施についてコンサルティング（7団体）を行った ・障がい者スポーツの普及・支援事業への協力などのコンサルティング（トリプルバトミントン交流大会やふれあいマラソンの支援等）を行った。	・個人や地域コミュニティ等のスポーツプログラムの実施についてコンサルティング（10団体）を行った ・障がい者スポーツの普及・支援事業への協力などのコンサルティング（トリプルバトミントン交流大会やふれあいマラソンの支援等）を行った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【17_04】－ 施策指標

観光にぎわい部、総合教育部

施策名称	スポーツ活動の推進
------	-----------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
地域スポーツへのコーディネート、コンサルティングに対する満足度	地域スポーツへのコーディネート、コンサルティングを実施した企業及び個人に対するアンケート調査による満足度（満足と回答した件数/総回答件数）	85	95	95	95	%	スポーツ振興課	6. 地域・競技スポーツのコンサルティング
各年度の実績		99	96.6			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 実績がある指導者や専門的な知識を活かし企画・運営のコーディネートすることで、満足度向上につながった。								
【施策指標の分析 R7】 団体や企業からの指導内容の希望を受け、それに応じたプログラムの提供を行ったことにより高い満足度を維持している。								

施策シート【17_04】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部、総合教育部

施策名称	スポーツ活動の推進
------	-----------

7. スポーツサポーターズバンク事業補助

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
市民のスポーツ活動振興を図るため、スポーツ指導者・支援者を派遣するスポーツサポーターズバンク事業を補助。	・学校部活動との連携も踏まえ、スポーツ指導者等を養成 ・ニーズに合わせた指導者を派遣	継続	継続	継続	スポーツ振興課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
指導者の登録者数の増加に努め、質の高い指導者・支援者とするため、フォローアップ研修等を実施していく。	・スポーツ指導者やスポーツ支援者などの講習会や研修会（5回）を開催した。 ・登録している指導者をスポーツイベントなどに派遣（222回）した。	・スポーツ指導者やスポーツ支援者などの講習会や研修会（5回）を開催した。 ・登録している指導者をスポーツイベントなどに派遣（224回）した。			
年度ごとの達成状況	◎	○			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
発掘・育成された指導者や支援者の派遣回数	市民の中から発掘・育成された指導者や支援者が、企業や団体からの派遣依頼に基づき派遣された回数	60	225	230	235	回	スポーツ振興課	7. スポーツサポーターズバンク事業補助
各年度の実績		222	224			回	備考	
【施策指標の分析 R6】 企業の健康経営®への関心の高まりから、プログラム数が増加し、サポーターズバンクの指導者派遣数が増加した。地域団体への派遣については、定期的に派遣している団体数は2団体で変わらないが、地域の福祉委員会等からの地域コンサル事業への相談があり、指導者派遣へとつながった事例が数件あった。								
【施策指標の分析 R7】 市内企業のオーダーメイドプログラムの実施数が減少したことなどにより、目標数値には至らなかった。								

施策名称	スポーツ活動の推進
------	-----------

8. 市立小中学校等の施設開放

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
地域住民等の身近な文化・地域活動の場として、小中学校、幼稚園施設の開放。	・受益者負担の対象用途の整理、及び徴収額の検討 ・利用申請に係る公平性確保、申請手続きに係る学校の負担軽減について検討	継続	新たな予約方法での申請受付及び受益者負担徴収を開始	継続	新しい学校推進課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
行革課題として、教員の負担軽減、利用上の公平性の確保、受益者負担の徴収があり、課題解消に向けて最適な機能を備えた施設予約システムの導入を検討する。	行財政改革プラン2024に掲げた「学校開放事業のあり方検討」として、受益者負担や利用申請に係る公平性確保を含め、施設利用予約の手続きや手順等の見直しの方向性を議論し、これらに必要となる施設予約システムについて情報収集と精査を行った。また、これとともに更なる人的労務の削減や学校のセキュリティの強化を視野に入れ、施設予約システムと連動するスマートロックについても、情報収集と精査を行い実証実験に向けた公民連携の募集を行った。	・課題の解消に向けて令和6年度に引き続き、施設予約システムや同システムと連動するスマートロックの仕様等について検討を進めるとともに、「枚方市公民連携プラットフォーム」で応募のあった事業者と連携し、同システムの試行実施を行った。 また、受益者負担の徴収額の検討を行った。			
年度ごとの達成状況	△	△			

施策シート【17_04】－ 施策指標

観光にぎわい部、総合教育部

施策名称		スポーツ活動の推進						
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
施設開放の年間利用者数	事業を通じて、小中学校、幼稚園施設を利用された利用者数	800,000	800,000	800,000	800,000	人	新しい学校推進課	8. 市立小中学校等の施設開放
各年度の実績		821,554	824,832			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 例年実績からすると、想定どおりの利用があった。							R4:836,177人（コロナ明け） R5:865,559人	
【施策指標の分析 R7】 例年実績からすると、想定どおりの利用があった。								

施策名称	スポーツ活動の推進
------	-----------

9. 野外活動センターの利用促進及びリニューアル

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
野外活動センターの利用者増を目指し、学校キャンプ（日帰り・宿泊）について、企画段階からサポートを行い、学校ニーズに対応した学校キャンプの促進を図る「学校キャンプ支援事業」を実施。より使いやすい施設となるよう、整備内容等の実施方針の検討を行い、魅力向上に向けたリニューアルを行う。	・学校のニーズ把握及び前年度実施内容の検証 ・学校キャンプの支援 ・リニューアルの実施方針の決定及び計画の検討（サウンディング等）	・継続 ・計画策定	・継続（リニューアルに合わせて見直し） ・リニューアルの具体化	継続	スポーツ振興課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
「児童の健全育成等」を目的とした「学校キャンプ支援事業」を実施し、利用校は前年度より減少した。今後とも、利用校増を図るため、学校関係機関等と内容等の充実も含め協議等に努める。 また、野外活動センターがより使いやすい施設となるよう「リニューアルに向けた対応方針（中間報告）」に記載のある「優先的に検討すべき課題」の解決を図り、今後の方策を検討する。	・学校キャンプ利用校は、小中学校併せて23校であった。 ・施設リニューアルの検討に伴う「サウンディング型市場調査」の実施に着手した。	・学校キャンプの利用校は、小・中学校併せて21校であった。 ・施設のリニューアルの検討に伴う「サウンディング型市場調査」を実施し、「野外活動センターのリニューアルに向けた対応方針（中間報告）」を取りまとめた。			
年度ごとの達成状況	△	△			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
施設の市内小中学生等の利用者数（日帰り・宿泊）	野外活動センターを利用した市内の小中学生の人数	5,910	6,110	6,310	6,510	人	スポーツ振興課	9. 野外活動センターの利用促進及びリニューアル
各年度の実績		3,645	3,422			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 学校キャンプ支援事業は宿泊学習利用が1校あったことや、日帰り利用校数が増加したことにより、利用者数は増加したが、一般利用の小中学生の利用人数が減少したことにより、目標数値の達成には至らなかった。								
【施策指標の分析 R7】 学校キャンプ事業に伴う利用校は2校減少した。一般利用の小中学生の利用人数は、昨年より微増したが、目標数値には至らなかった。								

取り組みに紐づかない指標

施策シート【17_04】ー 施策指標

観光にぎわい部、総合教育部

施策名称		スポーツ活動の推進						
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
スポーツ施設利用者数	体育館・グラウンドなど市立スポーツ施設の年間利用者数	990,000	1,010,000	1,030,000	1,060,000	人	スポーツ振興課	-
各年度の実績		959,501	946,721			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 総合スポーツセンターは陸上競技場が3種公認更新工事により施設閉鎖していたことにより、利用者数の減少があったものの、令和5年度8か月程度閉鎖していたラポールプールが令和6年度再開したことなどにより、利用者数が増加した。								
【施策指標の分析 R7】 土地区画整理事業に伴うサブリ村野スポーツセンターのグラウンドの閉鎖や渚市民体育館のドームアリーナの工事に伴う閉鎖により、利用者数が減少したため、目標数値には至らなかった。								

4. 取組満足度と関心・期待度・ニーズの4象限マトリクス分析

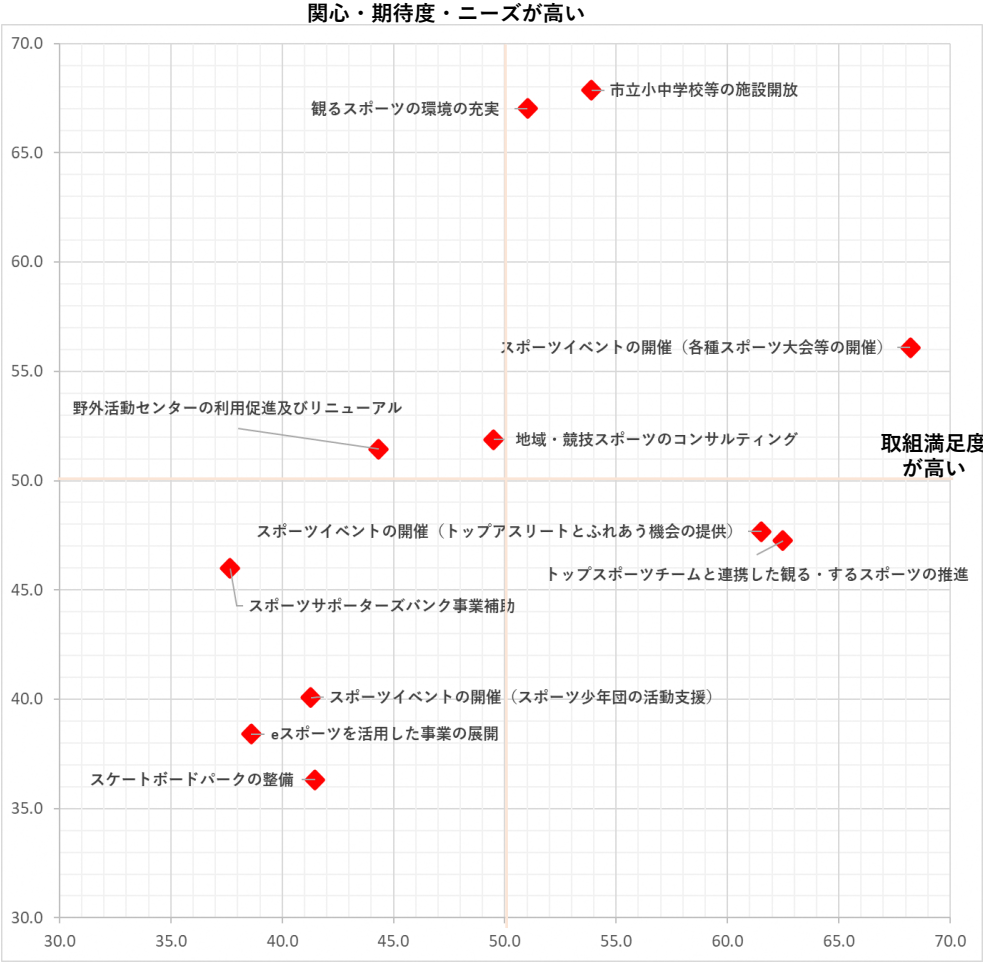
気軽にスポーツ活動ができる環境
17_04 スポーツ活動の推進

施策満足度		
満足	不満足	どちらとも いえない わからない
30.3%	18.4%	51.2%
「決め手となった取り組みはない」と 回答した人		
36.0%		

※回答数／全体数1,762

※満足の定義は、「感じている」「やや感じている」を選択した人で、
不満足の定義は、「あまり感じていない」「感じていない」を選択した人

※各施策における取組満足度や関心・期待・ニーズを分析するものであり、異なる施策間での比較を行うものではありません。



目指すべき姿
(施策満足度)『生きがいを持って学び続けられる環境』に紐づく全取り組み
⇒青丸●

上記のうち施策シート『17_04 スポーツ活動の推進』に紐づく取り組み⇒
赤ダイヤ◆

施策の分析

- ・「3. (2) スポーツイベントの開催 (各種スポーツ大会等の開催)」の関心・期待度・ニーズと取組満足度はともに高い。
- ・「1. 観るスポーツの環境の充実」、「8. 市立小中学校等の施設開放」は関心・期待度・ニーズは高いが、取組満足度は平均的である。
- ・「6. 地域・競技スポーツのコンサルティング」の関心・期待度・ニーズと取組満足度はともに平均的である。
- ・「2. トップスポーツチームと連携した観る・するスポーツの推進」、「3. (1) スポーツイベントの開催 (トップアスリートとふれあう機会の提供)」は関心・期待度・ニーズは平均的であるが、取組満足度は高い。
- ・「7. スポーツサポーターズバンク事業補助」、「9. 野外活動センターの利用促進及びリニューアル」は関心・期待度・ニーズは平均的だが、取組満足度は低い。
- ・「3. (3) スポーツイベントの開催 (スポーツ少年団の活動支援)」、「4. スケートボードパークの整備」、「5. eスポーツを活用した事業の展開」の関心・期待度・ニーズと取組満足度はともに低い。

5. 評価を踏まえた今後の方向性

今後の方向性

- ・施策全体の方向性として、年齢や障害の有無に関係なく、誰もが気軽に参加できる、スポーツを楽しむ機会を創出していく。
- ・関心・期待度・ニーズが高いスポーツイベントの開催については、誰もが気軽に参加できる機会の創出を図っていく。また、スケートボードパークについては淀川河川公園枚方地区に整備を行っており、令和9年4月の供用開始を目指す。
- ・野外活動センターは、優先課題の検討を進め、今後の方針をまとめていく。